

みんなで考えた森のなまえの候補

- ★シンダイ（新台）ヒロバ
- ★生駒台の森
- ★ムロヨコの森（台小の横だから）
- ★いこ森
- ★里の森
- ★コナラの森
- ★生駒台こどもの森
- ★いこまだいみんなのもり
- ★みんなの森
- ★みんなと遊べる森
- ★たのしい森
- ★ハッピーホレスト
- ★わくわく森
- ★探索の森
- ★つながりの森
- ★もののけの森
- ★楽広場
- ★いこいの泉

ワークショップに参加したみなさんの感想（抜粋）

- みんながたのしくしているのてほくもたのしくな
- った。
- 楽しかった。木を切っていたから歩きやすくな
- ってよかった。いろいろなことがわかった。またいき
- たい
- 木を切ったり普段では出来ない体験が出来てよ
- かったです。
- とても勉強になりました。
- 学校の近くにすてきな場所ができて楽しみです。
- どんどん楽しくなるワークショップでした。参加
- してホント良かったです。
- 普段ふれることができない木や土に接してよ
- かったです。自然にふれることは大事です。この森が
- できることで毎日接することができれば良いです。
- 木の名前をすることができて勉強になりました
- 前回、森に入ったときより親しみが出て、これ
- からの森が変わっていくのが楽しみです。

5回のワークショップでの森づくりのふりかえり



1 第1回は森の木・虫・きのこ・葉っぱなどいろいろなものを見て、自然を感じました。



2 第2回は森づくり体験でササを刈ったり木を切ったりしました。



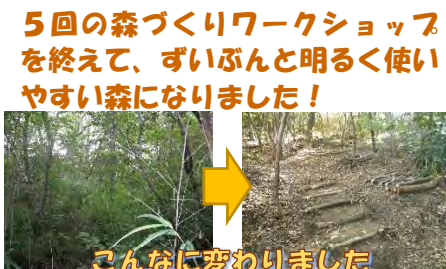
3 第3回はみんなで道のルートを考え、道づくりを行いました。



4 第4回は切り開いた道に階段をつけかぶと虫の家づくりを行いました。



5 第5回はクイズで木の勉強をして、木の名札をつくりました。



5回の森づくりワークショップを終えて、ずいぶん明るく使いやすい森になりました！

森づくりのご案内

【日時】：平成27年**1月18日**（日）

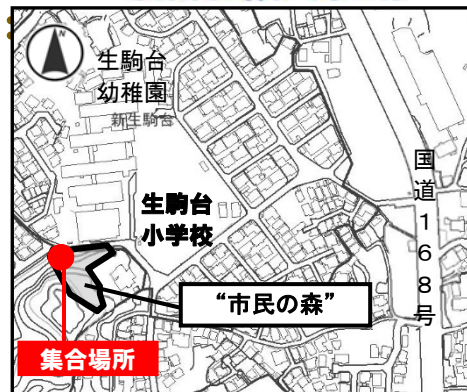
9：30～お昼ごろ

【集合】：「市民の森」入口（なまえ考え中）

【内容】：これまでのワークショップで行ってきた森づくりをつづけていきます。

【費用】 無料 【申込】 不要

【持物】 軍手、帽子、飲み物



※森へ入るので、長袖・長ズボンで、防寒対策をしっかりとってきてください。
※車の来場はご遠慮ください。

お問合せ：生駒市みどり景観課（担当 巽・松田）
生駒市東新町8番38号

電話 74-1111（内線573）
電子メール landscape@city.ikoma.lg.jp

市民でつくる**森づくり** みんなでつくる市民の森
ワークショップ ニュース3

生駒市では、まちなかの森を市民の方々に憩いの場として開放し、利用してもらうとともに、貴重な緑を保全するため、地域のみなさんと一緒に森づくりを行う「市民の森事業」を行っています。

27年1月 生駒市



8月からは、俵口町（生駒台小学校南側）の森について、どんな森になればいいかアイデアを出し合ったり、キコリ体験や森の道づくりなどを行うワークショップを行ってきました。

第4回は、「階段づくり」や夏の楽しみに向けて「かぶと虫の家づくり」を行いました。最終回となる第5回は、木の勉強と木の名札づくりを行いました。また、第4回、第5回を通じて、ワークショップ終了後の活動についても話し合いました。

ワークショップは第5回で最終回となりますが、森づくりはまだ、スタート地点に立ったばかり。

また来るよ！



これからも、よりステキな、みんなが自然とふれあい、楽しめる森になるよう、森づくりを続けていきます。ぜひ、ご参加ください。（次回の森づくりのご案内は4ページに掲載）

第4回、第5回ワークショップはこんな内容でした！

第4回/11月24日



歩きやすくなっ
たね

木をくみあわせてかぶと虫の家づくりを行いました。



いこま里山クラブとグリーンボランティアいこま宝の里の方々のご協力もあり、こんなステキなかいだんができました。



作業のあとは、みんなでこれからの森づくりについて、どんなことをしたいか話しました。

第5回/12月7日



これからも続け
たいね！

これまでのワークショップをふりかえり、今後どんな風に森づくりをすすめていくか、整理しました。



前からやりたいと希望が多かった、木の名札づくりを行いました。まずは、名札用の板を焼きます。



木のことが少し
わかってきたね

できた名札をみんなで森の木につけに行きました。

第4回、第5回のワークショップで考えたこれからの森づくり

こんな森づくりがしたい!

より良い森にするための手入れ

- 自然があれば良い。森らしい森に。
- いろんな世代の人が集う森にしよう。
- 森へ太陽を入れて、もう少し明るくする。
- ササをもっと刈る。高枝の処理。
- 切った木、笹の使い道を考えては。廃棄するのはムダ。
- ササの片付け(持ち出し、一箇所に集積)できたらチップに。
- 腐葉土をつくる場所をつくる(花もつくれる)
- 道づくり(階段づくり、安全面、切り株カットなど安心して歩けるようにする)
- ごみをひろう。

手入れして明るくなると鳥や生きものがやってくる

ワークショップの続きもやろう!

遊び・工作・学び

森の手入れ

(ササ刈り、ベンチづくり、階段づくりなど)

森でしてみたいこと

- さんぼする。
- 木や虫のことを知る。虫取りをする。
- 木の名札づくり、看板づくり、残す木に印つけ
- 子どもが遊べるようにする。(木のぼり、ロープでターザン遊び、ブランコ)
- 遊具をつくる。工作する(どんぐりごま etc)
- ものづくり(クラフト、ベンチ・テーブルづくり、腐葉土づくりなど)をする。
- 子どもが土や木、草、生き物に触れるチャンスをつくる。
- 鳥のすばこづくり。
- 学校・授業でも活用する。
- 花見をする。
- お弁当持ちで森で遊ぶ。
- 季節のイベント(花見、クリスマス、七夕など)をする。
- 植樹をする。
- 山菜採り(むかごなど)をする。
- 森のシンボルとしてゲートや壁(水がたまっていたところ)を活かす。(ツルのゲートづくりなど)

組み合わせてやっ払いこう!

森づくりを楽しくすすめていくために...

こんなものがほしい

- ベンチ、イスがほしい。
- 案内板に連絡機能をもたせよう。(水性ペンで書いたり、消したりできる。のぞきにきた人は跡を残す。)

こんなことに気をつけよう

- 道路に張り出す木が気になる。
- けが等事故が起こったときの責任体制。
- 外から中の様子が見えるよう。(柵づくり、見通せる、木の整理)

仕組みのことも考えよう

- 安全確保、ルールづくりが必要。
- 使える時間、日を決める。
- 管理体制もつくる。
- 時間制限でゲートを設ける。(夜侵入したり、花火をしたり、たばこを吸うことも考えられる)
- 市とのかかわりや担当をはっきりさせていく。

事例を参考に考える

こんなひとがいてほしい

- 安全管理や手入れの技術、木のこと(木工・樹木)、遊びなど専門的な知識のある人(経験者)が何名かは必要。
- いろいろな遊びや作業を教えてほしい。
- 呼びかける人が必要。
- 子どもを見守る人がいてほしい。

広報しよう

- 道沿いに案内看板を立てる。
- ニュースをPR。住民に周知するように考える。
- 個人的に声をかける。(新生駒台には子ども会がないので子どもに声をかけにくい)

こんな進め方はどう?

- ★1~2か月に1回ぐらいと必要なときに活動する。(年間スケジュールがあると良いが4月以降に考えてはどうか)
- ★1回2~3時間ぐらいの活動にしよう。
- ★森の手入れと遊びなどを組み合わせていこう。やりたいことに合わせて、森を手入れしていこう。
- ★いろいろな人が森に入ってかかわっていただけるようにしよう。

ゆめの森のイメージ

